

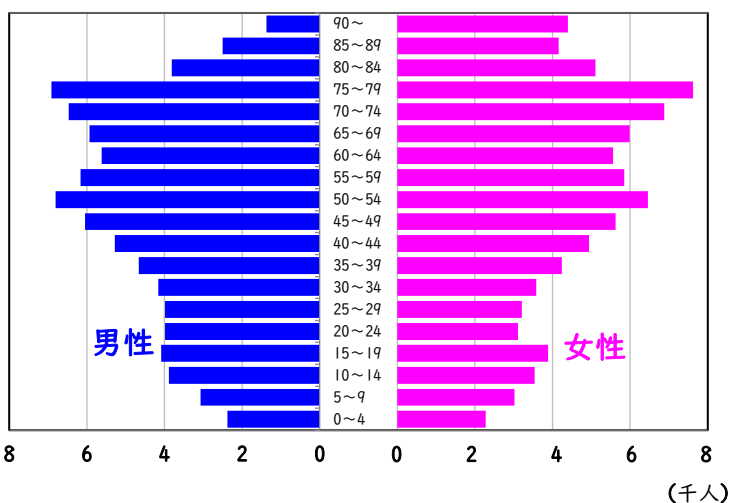
上越市



人口	176,572人
世帯数	77,859世帯
高齢化率	34.6%

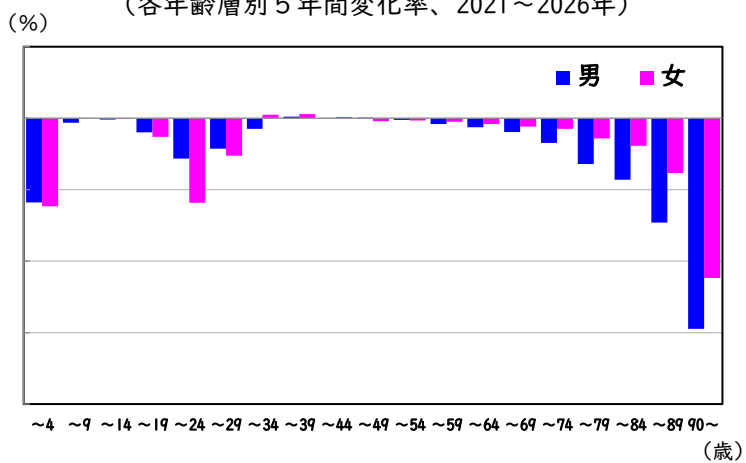
※2026年4月末時点の
住民基本台帳人口

男女年齢別人口



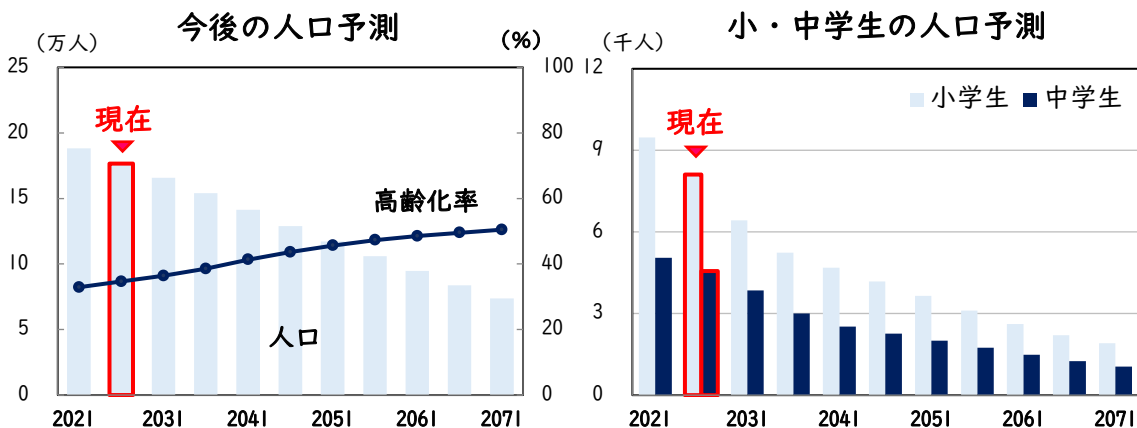
コーホート変化率

(各年齢層別5年間変化率、2021～2026年)



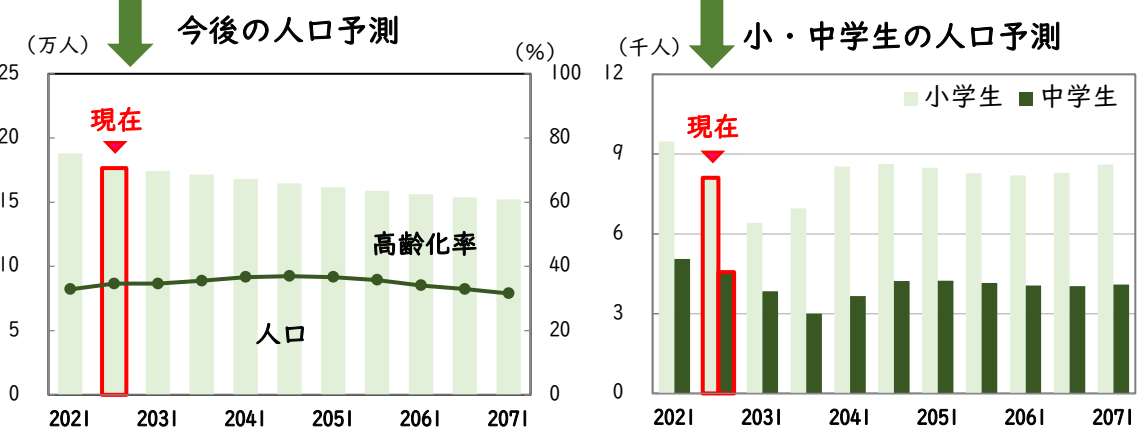
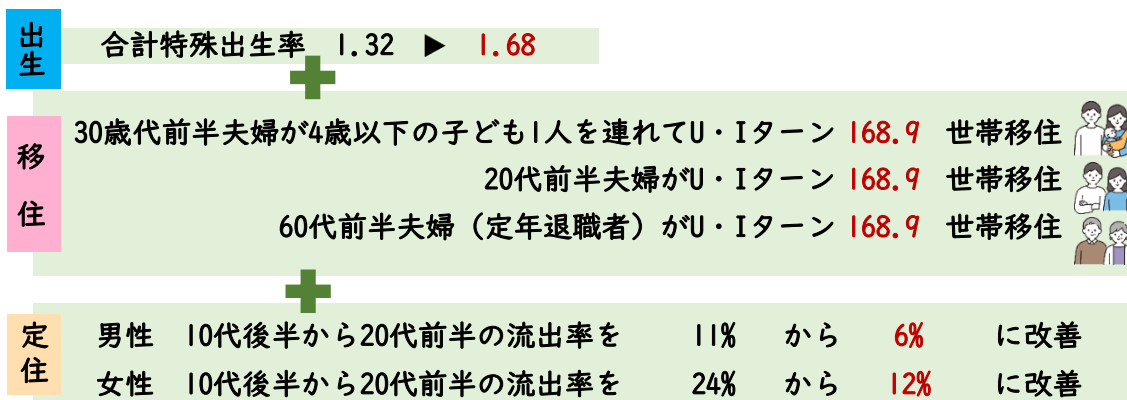
人口シナリオ①：現行推移

このままのペースで増減が続いたらどうなるか。



人口シナリオ②：組み合わせ最適モデル

定住促進に取り組み、毎年、以下の目標が達成できたらどうなるか。

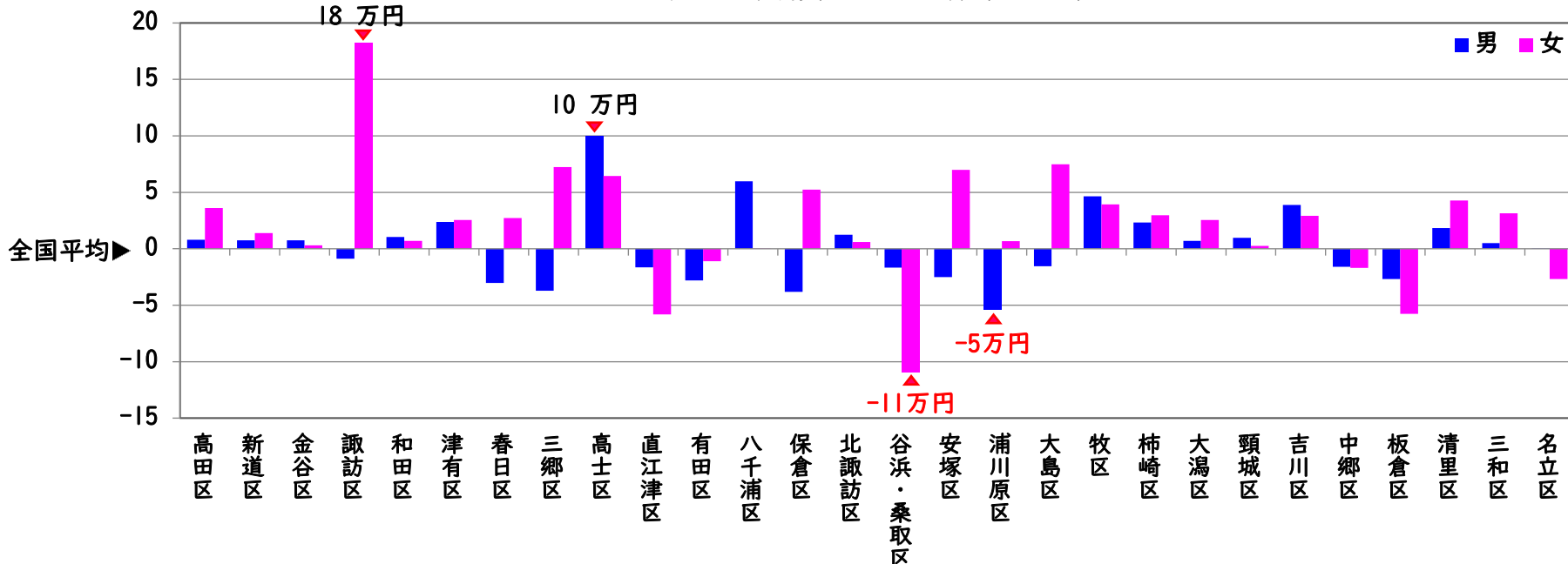


介護分析 ：上越市と全国の平均的介護費用の比較（28区別）

被保険者1人当たりの年間の介護費用を地区ごとに全国の平均的介護費用と比較してみます。

※地域での暮らしが高齢者の健康度に及ぼす影響を調べるため、特別養護老人ホームに入所している人は前住所地で分析を行っています。

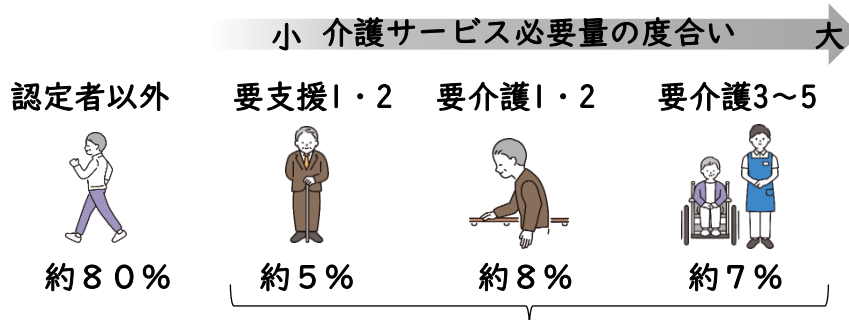
(万円/年) 全国の平均的介護費用との差額（28区別）



全国平均より **高額**（介護費用が多い）：男性 **高士区** 女性 **諏訪区**
全国平均より **抑制**（介護費用が少ない）：男性 **浦川原区** 女性 **谷浜・桑取区**

介護分析：上越市の「お達者度」（介護認定の状況）

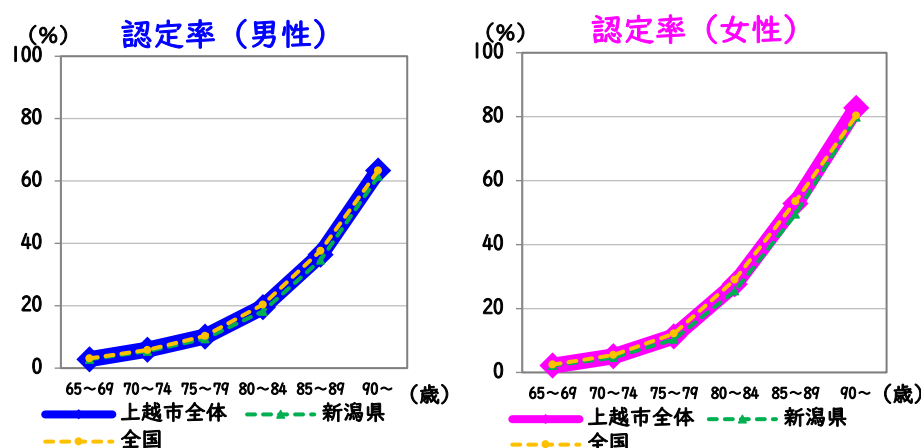
上越市の65歳以上の介護認定の状況



上越市の高齢者のうちの約20%が介護認定を受けています。

概要

(1) 年齢階層別の介護認定率



上越市は、全国平均と比較してどんな地域？

- 認定率 男性 同程度（全年代）
- 女性 同程度・やや高め（90代～）

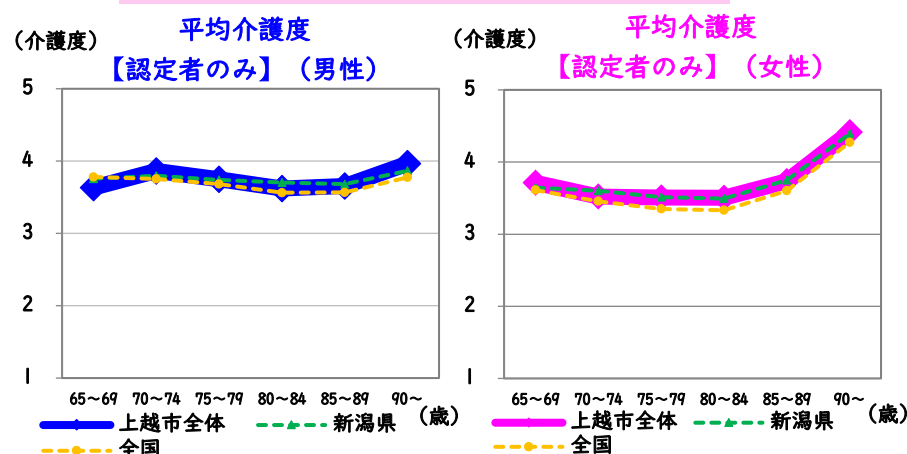
全国平均と比較して、男性はどの年代も、女性は80代までは介護や支援を必要とする方が多くない地域だが、女性は90代後半以降認定率が上がっている。

- 認定者の平均介護度 男性 やや高め（特に80代後半～）
- 女性 やや高め（特に70代後半～）

全国平均と比較して、手厚い介護を必要とする方が男女ともに多い地域（「低め」は「一人当たりの介護度が小さい」、「高め」は「一人当たりの介護度が大きい」という見方もできる）

結論

(2) 年齢階層別の平均介護度

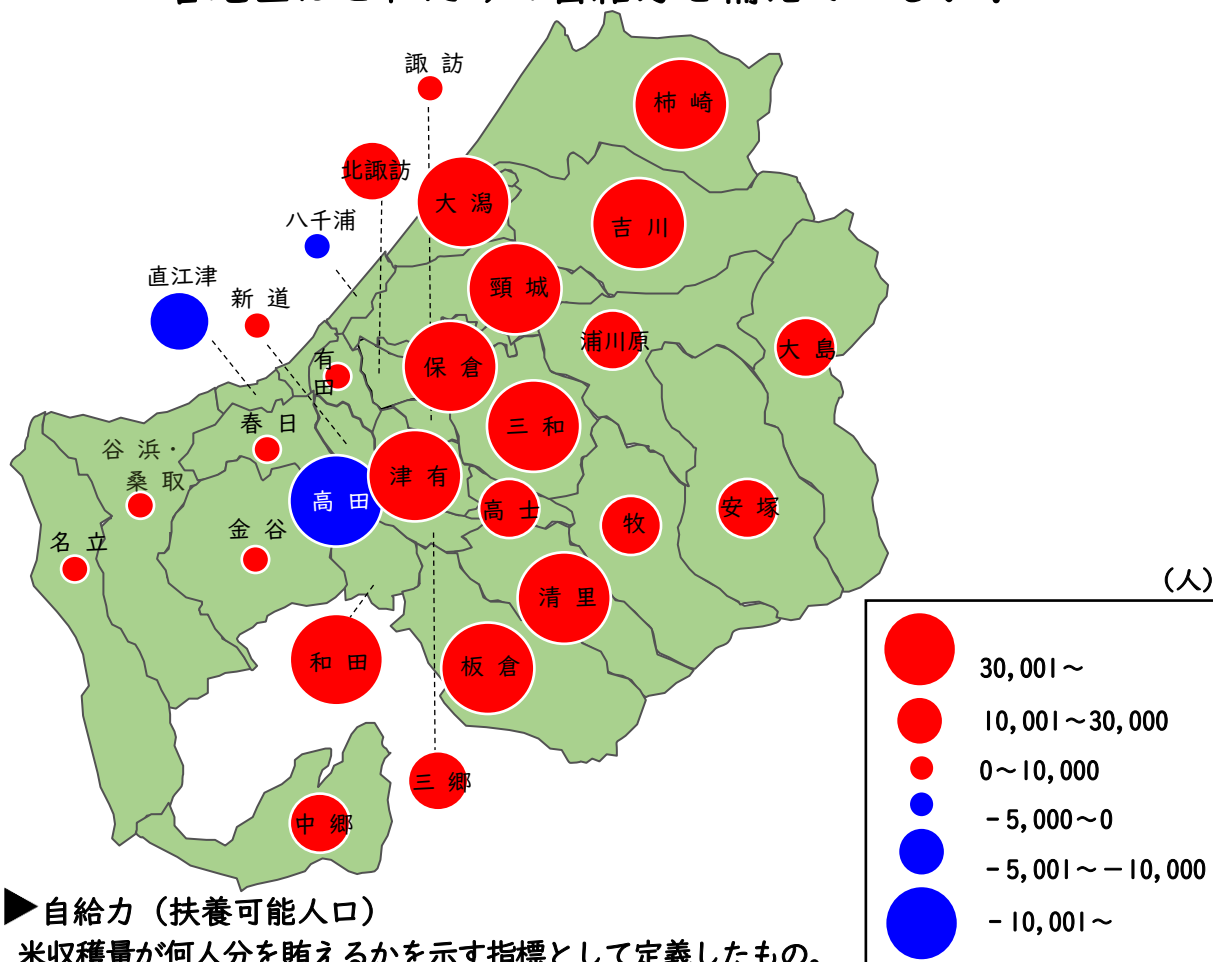


※平均介護度は要支援1＝1、要支援2＝2、要介護1＝3・・・要介護5＝7とした場合の平均値

上越市の自給力（米生産量で考えた場合）

地区	2020年 国調人口 (A)	2020年 自給力 (扶養可能人口) (B)	差分 (B-A)
高田	27,439	3,740	-23,699
新道	9,606	20,020	10,414
津有	4,639	85,910	81,271
諏訪	1,042	29,150	28,108
三郷	1,233	15,840	14,607
和田	6,044	44,000	37,956
金谷	13,754	16,394	2,640
春日	22,026	27,170	5,144
高士	1,302	30,140	28,838
直江津	18,566	1,540	-17,026
有田	15,288	19,470	4,182
八千浦	3,721	880	-2,841
保倉	1,981	53,130	51,149
北諏訪	1,421	20,900	19,479
谷浜・桑取	1,392	6,274	4,882
安塚	2,069	22,122	20,053
浦川原	3,111	22,321	19,210
大島	1,289	19,800	18,511
牧	1,629	22,682	21,053
柿崎	8,901	90,699	81,798
大潟	9,096	55,458	46,362
頸城	9,176	143,335	134,159
吉川	3,669	92,672	89,003
中郷	3,390	21,168	17,778
板倉	6,248	79,440	73,192
清里	2,453	49,293	46,840
三和	5,218	202,058	196,840
名立	2,344	8,911	6,567
合計	188,047	1,204,517	1,016,470

各地区はどれだけの自給力を備えているか？



自給力（扶養可能人口）

米収穫量は何人分を賄えるかを示す指標として定義したもの。

2020年の米の収穫量÷1人あたりの米消費量（50kg/年）

2020年度の1人あたり米消費量が50.8kgであることから50kgに設定（農水省ホームページより）

→上越市はさらに100万人以上の人口を支える力がある。